

2019年3月期 第2四半期 連結決算概況と通期見通し

2018年11月6日
オリンパス株式会社
取締役副社長執行役員 CFO
竹内 康雄

免責事項

- 本資料のうち、業績見通し等は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいたものであり、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が目標と大きく異なる結果となる可能性があります。
- また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報及び資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行って下さいますようお願い致します。
- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

上期実績

■ 連結

- 売上：主力の医療事業が全社業績を牽引し、3%増収
- 利益：証券訴訟の和解金等の影響により減益

通期業績見通し

- 米国司法省による十二指内視鏡の調査関連引当金の計上、および映像事業の業績動向を考慮し、通期計画を修正

2019年3月期 第2四半期 連結業績および事業概況

2019年3月期 第2四半期実績 ①連結業績概況

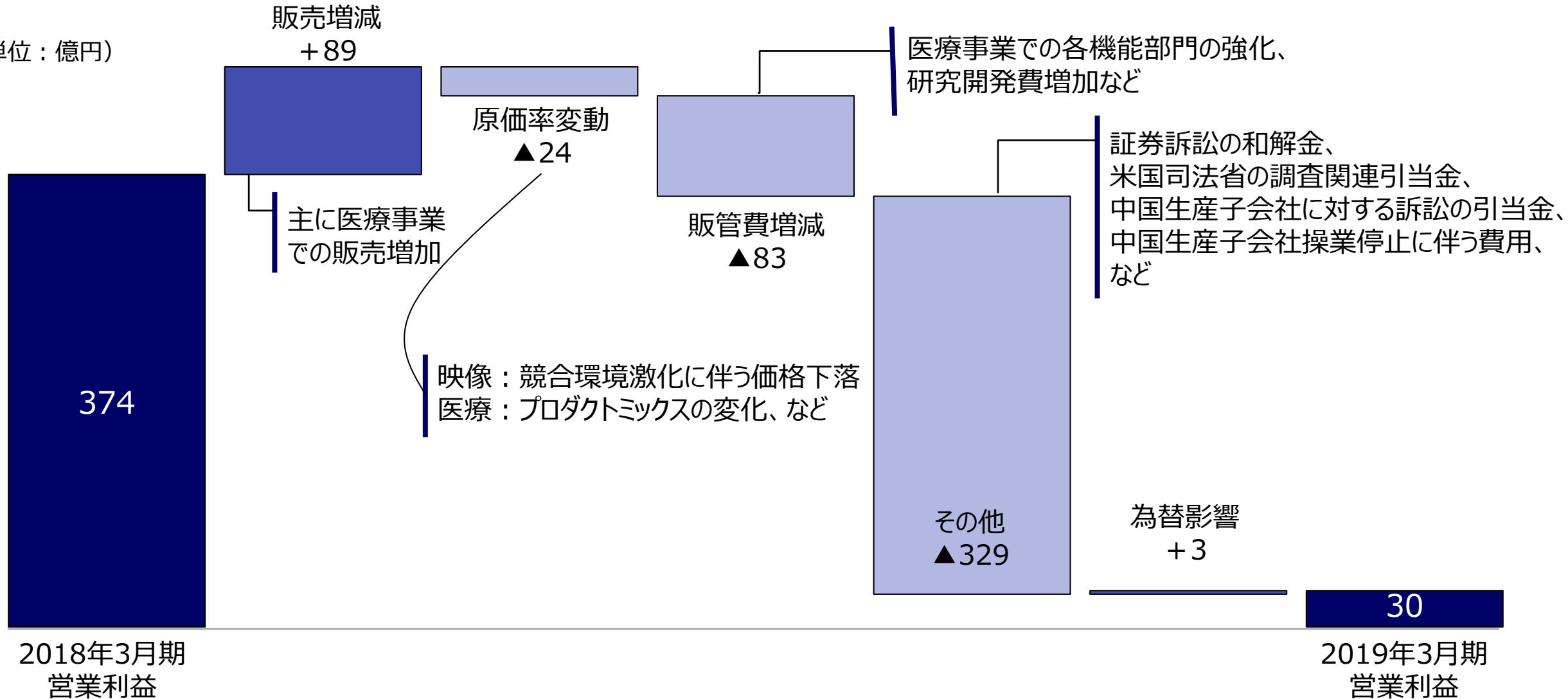
- ① 売上高は医療事業が堅調に推移し、前年同期比3%の増収を達成
- ② 証券訴訟の和解金、米国司法省による調査関連引当金（97億円）等計上により、減益

(単位：億円)	2Q累計実績（4-9月）				2Q実績（7-9月）			
	2018年 3月期	2019年 3月期	前年 同期比	為替影響 調整後	2018年 3月期	2019年 3月期	前年 同期比	為替影響 調整後
売上高	3,694	3,818	+3%	+3%	1,976	2,013	+2%	+2%
売上総利益 (売上総利益率)	2,418 (65.4%)	2,488 (65.2%)	+3%	+3%	1,289 (65.2%)	1,305 (64.8%)	+1%	+1%
販売費および一般管理費 (販売費および一般管理費率)	2,035 (55.1%)	2,124 (55.6%)	+4%	+4%	1,040 (52.6%)	1,074 (53.3%)	+3%	+4%
その他の収益および費用等	▲8	▲335	-	-	▲2	▲85	-	-
営業利益 (営業利益率)	374 (10.1%)	30 (0.8%)	▲92%	▲93%	247 (12.5%)	146 (7.3%)	▲41%	▲41%
税引前損益 (税引前利益率)	352 (9.5%)	▲28 (-)	▲379億円		232 (11.8%)	119 (5.9%)	▲49%	
親会社の所有者に帰属する当期損益 (親会社の所有者に帰属する当期利益率)	298 (8.1%)	▲55 (-)	▲353億円		198 (10.0%)	112 (5.6%)	▲43%	
円/USドル	111円	110円			111円	111円		
円/Euro	126円	130円			130円	130円		

2019年3月期 第2四半期実績 ①連結営業利益増減要因

第2四半期累計実績（4-9月）

(単位：億円)

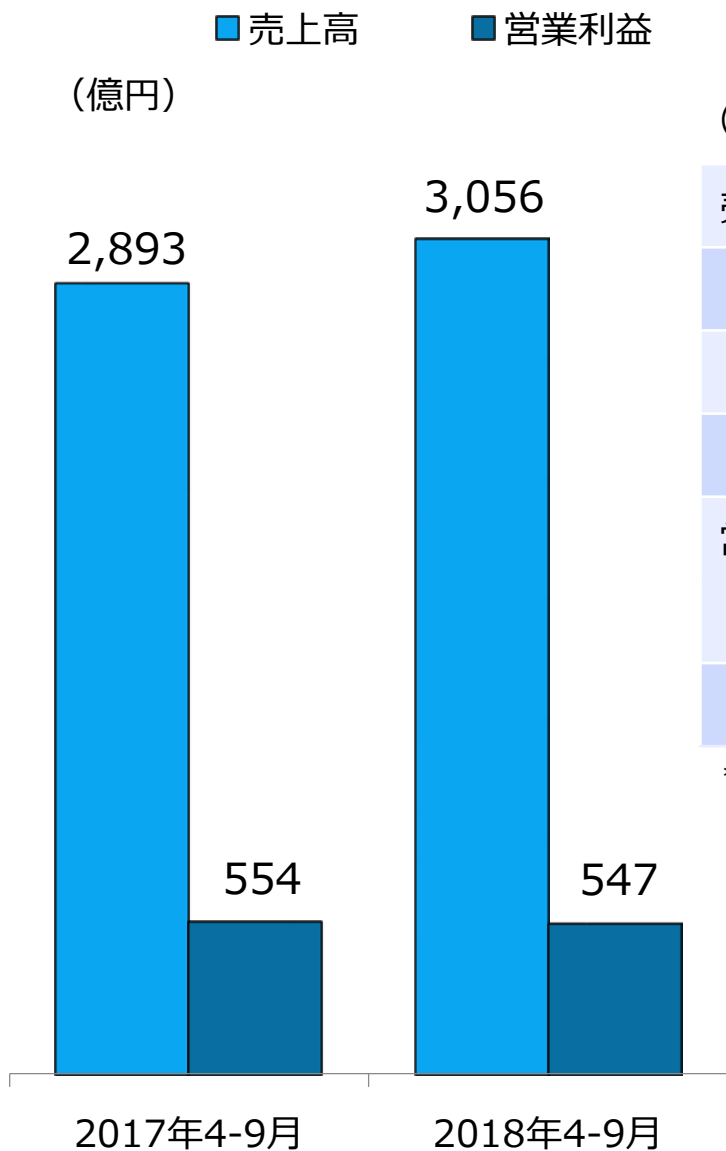


2019年3月期 第2四半期実績 ②セグメント別概況

- ① 医療：上期として過去最高の売上高を更新。営業利益は、米国司法省の調査関連引当金により、前年並み
- ② 科学：産業分野の好調な市況を背景に、増収増益を達成
- ③ 映像：中国生産子会社操業停止に伴う費用計上等により、営業損失を計上

(単位：億円)		2Q累計実績 (4-9月)				2Q実績 (7-9月)			
		2018年3月期	2019年3月期	前年同期比	為替影響調整後	2018年3月期	2019年3月期	前年同期比	為替影響調整後
医療	売上高	2,893	① 3,056	+6%	+5%	1,548	1,617	+4%	+5%
	営業利益	554	547	▲1%	▲1%	322	273	▲15%	▲15%
科学	売上高	446	473	+6%	+6%	246	262	+6%	+7%
	営業利益	13	② 28	+123%	+120%	18	32	+73%	+68%
映像	売上高	306	257	▲16%	▲16%	154	118	▲24%	▲23%
	営業利益	16	③ ▲92	▲108億円	▲111億円	7	▲34	▲42億円	▲40億円
その他	売上高	50	32	▲35%	▲35%	27	16	▲41%	▲41%
	営業利益	▲12	▲14	▲2億円	▲2億円	▲7	▲7	-	-
全社・消去	売上高	-	-	-	-	-	-	-	-
	営業利益	▲197	▲439	▲242億円	▲243億円	▲93	▲117	▲23億円	▲24億円
連結合計	売上高	3,694	3,818	+3%	+3%	1,976	2,013	+2%	+2%
	営業利益	374	30	▲92%	▲93%	247	146	▲41%	▲41%

2019年3月期 第2四半期実績 ③医療事業



(単位：億円)	第2四半期累計実績 (4-9月)				第2四半期実績 (7-9月)			
	FY2018	FY2019	前年同期比	為替影響調整後	FY2018	FY2019	前年同期比	為替影響調整後
売上高	2,893	3,056	+6%	+5%	1,548	1,617	+4%	+5%
内視鏡	1,565	1,639	+5%	+5%	837	876	+5%	+5%
外科	941	1,008	+7%	+7%	512	534	+4%	+5%
処置具	387	409	+6%	+5%	199	208	+4%	+5%
営業利益	554	547	▲1%	▲1%	322	273	▲15%	▲15%
その他の損益*	▲15	▲69	-	-	▲7	▲78	-	-
営業利益率	19.1%	17.9%		18.0%	20.8%	16.9%		16.7%

*決算短信に記載の「その他の収益/費用」の数値

売上高

✓ 医療事業は全分野で好調に推移し、上期で過去最高の売上高を達成

営業利益

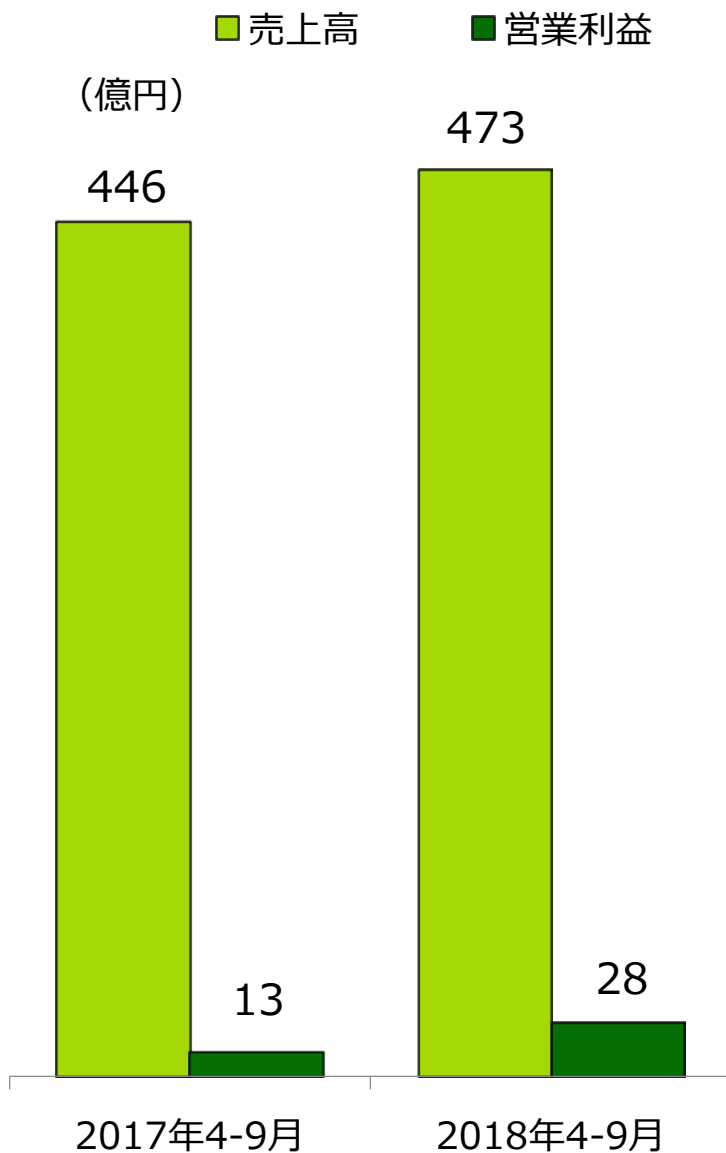
✓ 米国司法省による十二指腸内視鏡調査関連の引当金（97億円）を計上したことで、上期の営業利益は前年並みの水準

✓ 引当金計上の影響を除くと、2Qおよび上期のいずれも2桁増益

2019年3月期 第2四半期実績 ③医療事業

分野	地域	現地通貨別成長率			分野別の状況
		FY2018		FY2019	
		上期	通期	上期	
内視鏡	日本	▲2%	▲2%	▲7%	<ul style="list-style-type: none"> 日本：主力製品がライフサイクル後半に入っていることに加え、公的/公立病院を中心に予算獲得の厳しい状態が続き、マイナス成長 欧米：セールスプロモーションや保守を含めた販売が堅調に推移 豪亜：中国を中心に、アジア・オセアニア地域で高い成長を維持
	北米	▲3%	+1%	+6%	
	欧州	▲7%	▲1%	+5%	
	豪亜	+8%	+10%	+12%	
	全地域	▲1%	+2%	+5%	
外科	日本	+4%	+9%	+5%	<ul style="list-style-type: none"> 日欧：主力システム「VISERA ELITE II」およびエネルギーデバイスが堅調に推移 北米：ISM社の買収効果により、システムインテグレーション製品の売上が大幅に増加し、成長に大きく貢献
	北米	0%	+2%	+8%	
	欧州	+10%	+6%	+6%	
	豪亜	+17%	+10%	+4%	
	全地域	+5%	+6%	+7%	
処置具	日本	+8%	+7%	+1%	<ul style="list-style-type: none"> 全地域でプラス成長を確保 北米：特に市場ニーズを捉えた差別化製品等を積極的に導入し、好調に推移
	北米	+3%	+4%	+11%	
	欧州	+1%	+3%	+5%	
	豪亜	+21%	+16%	+8%	
	全地域	+8%	+7%	+5%	

2019年3月期 第2四半期実績 ④科学事業



(単位：億円)	第2四半期累計実績 (4-9月)				第2四半期実績 (7-9月)			
	FY2018	FY2019	前年同期比	為替影響調整後	FY2018	FY2019	前年同期比	為替影響調整後
売上高	446	473	+6%	+6%	246	262	+6%	+7%
営業利益	13	28	+123%	+120%	18	32	+73%	+68%
その他の損益*	▲2	▲1	-	-	▲2	▲1	-	-
営業利益率	2.8%	5.9%		5.9%	7.5%	12.1%		11.7%

*決算短信に記載の「その他の収益/費用」の数値

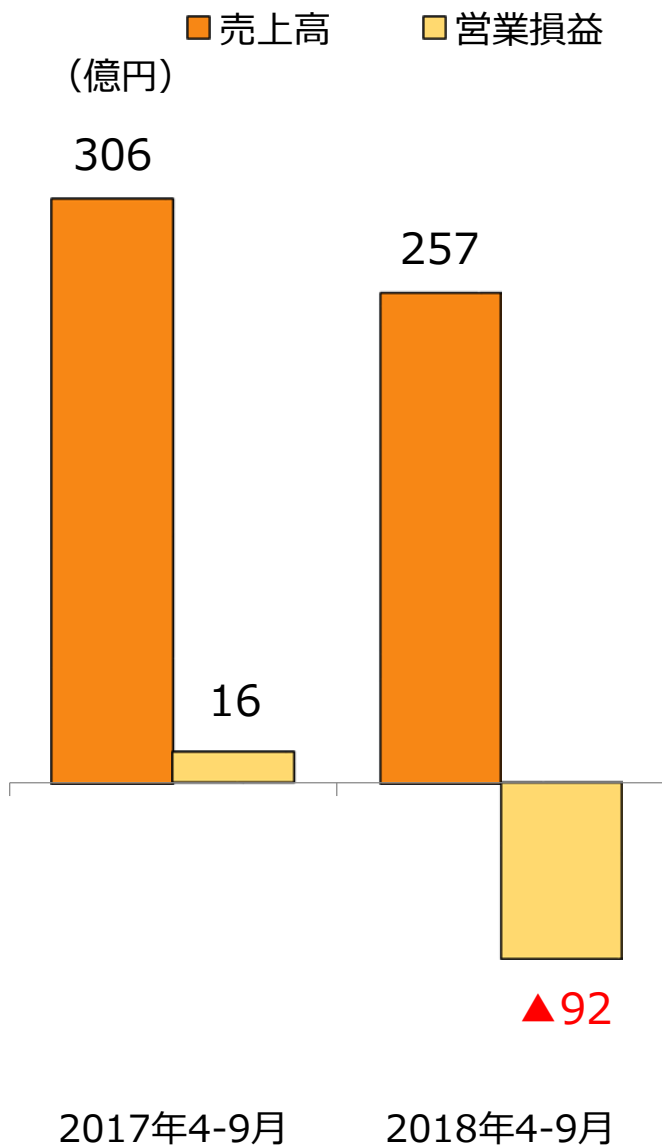
売上高

- ✓ 生物顕微鏡：北米、中国を中心に売上が堅調に推移
- ✓ 産業製品：半導体、電子部品、自動車等、産業市場の良好な市場環境を背景に、工業用顕微鏡や非破壊検査装置の販売が好調

営業損益

- ✓ 増収効果により、大幅増益

2019年3月期 第2四半期実績 ⑤映像事業



(単位：億円)	第2四半期累計実績 (4-9月)				第2四半期実績 (7-9月)			
	FY2018	FY2019	前年同期比	為替影響調整後	FY2018	FY2019	前年同期比	為替影響調整後
売上高	306	257	▲16%	▲16%	154	118	▲24%	▲23%
ミラーレス	233	188	▲19%	▲20%	117	84	▲28%	▲27%
コンパクト	47	40	▲15%	▲15%	24	20	▲18%	▲17%
その他	26	29	12%	12%	14	14	▲1%	0%
営業損益	16	▲92	▲108億円	▲111億円	7	▲34	▲42億円	▲40億円
その他の損益*	0	▲53	-	-	0	▲4	-	-
営業利益率	5.3%	-		-	4.7%	-		-

*決算短信に記載の「その他の収益/費用」の数値

売上高

✓ 競合環境の激化および、生産拠点の再編に伴い、交換レンズを中心に製品の供給に制約が生じた影響もあり、減収

営業損益

✓ 生産構造改革費用（中国生産子会社操業停止に伴う費用）を主な要因として、営業損失を計上

財政状態計算書

■ 有利子負債を425億円圧縮し、自己資本比率は47.0%

(単位：億円)	2018年 3月末	2018年 9月末	増減額
流動資産	5,143	4,596	▲547
棚卸資産	1,393	1,521	+128
非流動資産	4,644	4,797	+154
有形固定資産	1,682	1,762	+80
無形資産・その他	1,989	1,999	+10
のれん	972	1,036	+64
資産 合計	9,787	9,394	▲393

	2018年 3月末	2018年 9月末	増減額
流動負債	3,059	3,007	▲53
社債及び借入金	888	817	▲71
非流動負債	2,285	1,963	▲322
社債及び借入金	1,592	1,237	▲355
資本	4,443	4,424	▲18
自己資本比率	45.2%	47.0%	+1.8pt
負債及び資本 合計	9,787	9,394	▲393

有利子負債：2,054億円（2018年3月末比▲425億円）

連結キャッシュフロー計算書

- FCF：証券訴訟の和解金190億円の支出により、フリーキャッシュフローは40億円のマイナス

第2四半期累計実績

(単位：億円)	2018年3月期	2019年3月期	増減
売上高	3,694	3,818	+124
営業利益	374	30	▲344
営業利益率	10.1%	0.8%	-
営業キャッシュフロー	426	274	▲152
投資キャッシュフロー	▲297	▲314	▲17
フリーキャッシュフロー	129	▲40	▲169
財務キャッシュフロー	▲347	▲582	▲235
現金及び現金同等物期末残高	1,813	1,309	▲504
減価償却費	255	283	+28
設備投資額	306	311	+5

2019年3月期 通期業績見通し

通期見通し ①連結業績

■ 米国司法省関連の引当金計上、映像事業の業績動向を考慮し、売上高および各段階利益を修正

(単位：億円)	2019年3月期 8月7日公表見通し	2019年3月期 (最新見通し)	増減	前回見通し比	2018年3月期
売上高	8,000	7,900	▲100	▲1%	7,865
売上総利益 (売上総利益率)	5,270 (65.9%)	5,220 (66.1%)	▲50	▲1%	5,105 (64.9%)
販売費および一般管理費 (販売費および一般管理費率)	4,380 (54.8%)	4,380 (55.4%)	0	0%	4,266 (54.2%)
その他の収益および費用等	▲310	▲400	▲90	-	▲29
営業利益 (営業利益率)	580 (7.3%)	440 (5.6%)	▲140	▲24%	810 (10.3%)
税引前利益 (税引前利益率)	530 (6.6%)	390 (4.9%)	▲140	▲26%	767 (9.7%)
親会社の所有者に帰属する当期利益 (親会社の所有者に帰属する当期利益率)	400 (5.0%)	260 (3.3%)	▲140	▲35%	571 (7.3%)
EPS	117円	76円			
円/USD	106円	108円	+2円(円安)		
円/Euro	130円	130円	-		

2019年3月期配当
年間配当30円を予定
(変更なし)

通期見通し ②セグメント別業績

- 医療事業 : 米国司法省関連の引当金計上の影響により、営業利益を修正
- 映像事業 : 2Q実績を踏まえて売上高、営業利益を修正

(単位：億円)		2019年3月期 8月7日公表見通し	2019年3月期 最新見通し	増減額	前回見通し比
医療	売上高	6,340	6,340	-	-
	営業利益	1,350	1,270	▲80	▲6%
科学	売上高	1,000	1,000	-	-
	営業利益	70	70	-	-
映像	売上高	600	500	▲100	▲17%
	営業利益	▲70	▲130	▲60	▲60
その他	売上高	60	60	-	-
	営業利益	▲60	▲60	-	-
全社・消去	売上高	-	-	-	-
	営業利益	▲710	▲710	-	-
合計	売上高	8,000	7,900	▲100	▲1%
	営業利益	580	440	▲140	▲24%

トピックス

セグメント別トピックス

医療 科学

- 東大発AIベンチャー「エルピクセル株式会社」へ出資し、内視鏡／顕微鏡画像診断支援のAI技術開発を強化
 - ✓ これまでも共同研究を進めており、両社の保有する膨大な画像情報を活用してAI技術開発をさらに強化
 - ✓ 今後の業務提携も視野に入れて協議予定

医療

- イスラエル医療機器会社「Medi-Tate」に出資し、泌尿器ビジネス領域における製品競争力を強化
 - ✓ Medi-Tate社の技術を活用し、前立腺肥大症（BPH）の治療用デバイスのポートフォリオを拡大

科学

- オリンパスが独自開発したディープラーニング技術を使用し、呉医療センター・中国がんセンターとAI病理診断支援ソフトウェアの共同研究を実施

映像

- 黒字化構造の確立に向けて、ベトナム生産子会社へのデジタルカメラの生産集約は順調に進捗

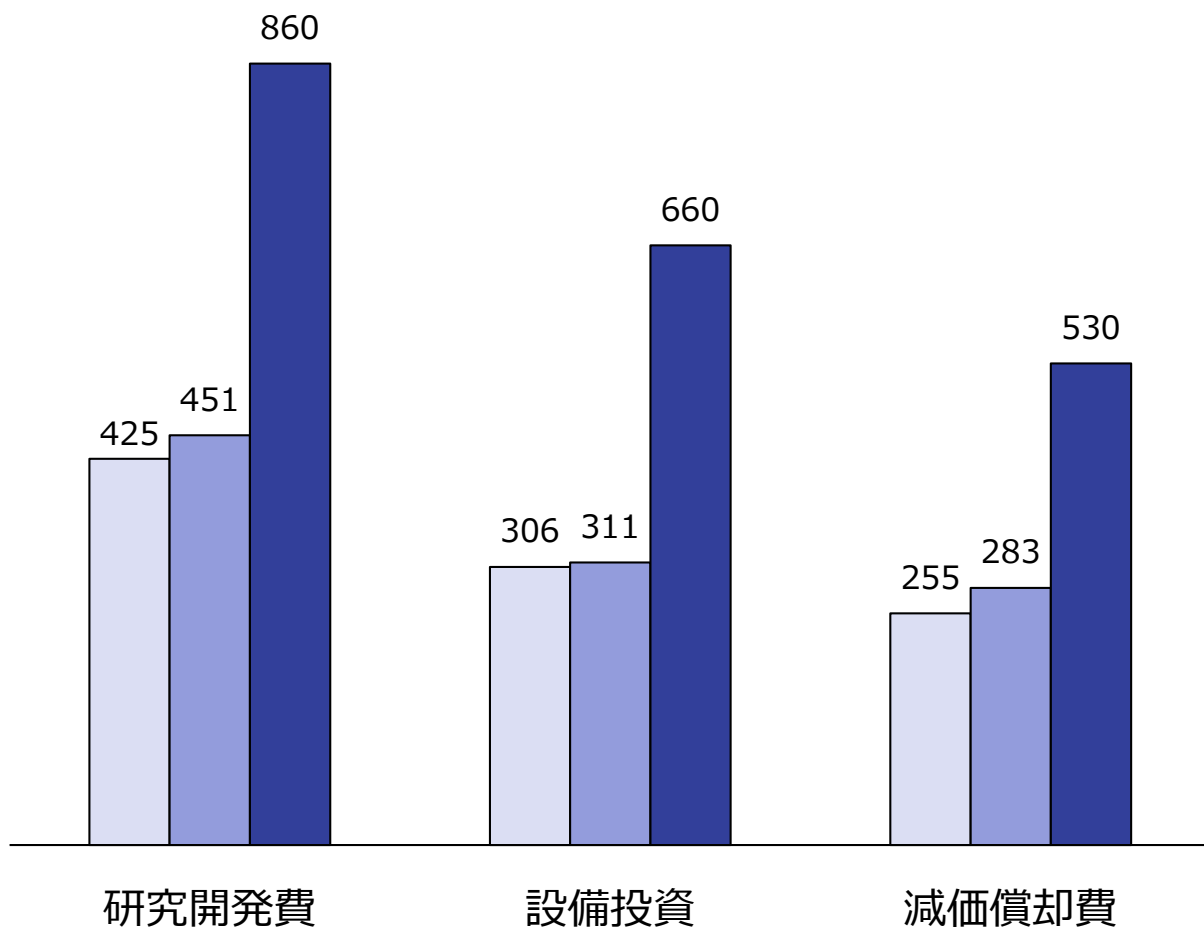
OLYMPUS

Appendix

【参考資料】投資等（研究開発費、設備投資、減価償却費）

2Q累計実績および通期見通し

(億円) □ FY2018 2Q累計 ■ FY2019 2Q累計 ■ FY2019 通期見通し



研究開発費詳細

(単位：億円)

	FY2018(*1)		FY2019	
	2Q累計	2Q累計	2Q累計	通期見通し
研究開発費 (対売上高比率)	425 (11.5%)	451 (11.8%)	860 (10.9%)	

ご参考

(単位：億円)

	FY2018		FY2019	
	2Q累計	2Q累計	2Q累計	通期見通し
開発費資産化(*2)	55	45	120	
償却費	28	35		

2018年6月末 2018年9月末

開発資産残高	332	338
--------	-----	-----

- (*1) 研究開発費の集計方法変更に伴う影響を除いた金額。
 なお、集計方法変更に伴う影響を含めた金額は、471億円です
- (*2) 開発費資産化の数値は上段の研究開発費に含まれています

2019年3月期 第2四半期実績 セグメント別その他の損益

(単位：億円)		FY2018			FY2019	
		1Q	2Q	年間	1Q	2Q
医療	売上高	1,344	1,548	6,163	1,439	1,617
	営業利益	232	322	1,218	274	273
	その他の損益	▲8	▲7	▲17	10	▲78
科学	売上高	200	246	1,000	211	262
	営業利益	▲6	18	64	▲4	32
	その他の損益	0	▲2	▲5	▲1	▲1
映像	売上高	151	154	603	139	118
	営業利益	9	7	▲12	▲58	▲34
	その他の損益	0	0	▲13	▲49	▲4
その他	売上高	23	27	99	17	16
	営業利益	▲5	▲7	▲50	▲7	▲7
	その他の損益	1	1	▲6	1	0
全社・消去	売上高	-	-	-	-	-
	営業利益	▲103	▲93	▲410	▲322	▲117
	その他の損益	3	6	13	▲210	▲4
連結合計	売上高	1,718	1,976	7,865	1,806	2,013
	営業利益	127	247	810	▲116	146
	その他の損益	▲5	▲1	▲28	▲250	▲87

*決算短信に記載の「その他の収益/費用」の数値